

- 第1回（令和5年1月12日実施）及び第2回（令和5年2月22日実施）を踏まえた、新規恒久5施設の経営改善に向けた意見は、以下のとおり

## テーマ①：収入確保策の精査

項目	委員からのご意見等
<p><b>各施設の利用促進</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>知名度を上げるための工夫</b>（定期的なイベント開催や聖地化など）</li> <li>● <b>民間の柔軟な発想の活用</b>（人が各施設に集まる仕組みを構築）</li> <li>● <b>ニーズに合わせた利用者層の拡大の取組</b> （東京アクアティクスセンターにおける学校の授業や部活利用の受け入れなど）</li> <li>● <b>各施設のポテンシャルを最大限活用した利用の誘致</b> （海の森水上競技場の広大な陸域を活かしたイベント誘致など）</li> <li>● <b>インバウンドや外国人アスリート向けの商品開発</b> （カヌー・スラロームセンターでのナイトラフティングツアーなど）</li> <li>● <b>「運動部活動の地域移行」を見据えた事業展開</b> （大井ホッケー競技場におけるスクール事業の展開など）</li> <li>● <b>周辺施設との連携</b>（夢の島公園アーチェリー場における公園施設との連携など）</li> <li>● <b>施設アイデンティティの見直し</b> （多目的利用の一層拡大に向けて、これまでの考え方にとらわれず検討）</li> </ul>

## テーマ①：収入確保策の精査（続き）

項目	委員からのご意見等
広報	<ul style="list-style-type: none"><li>● 複数施設を一括でプロモーションする仕組みづくり （18施設ネットワークの構築、民間のアイデアの活用など）</li><li>● 各施設に関心を持ってもらうための工夫 （インフルエンサーの活用、プロモーショングッズの製作・配布など）</li></ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"><li>● 社会的意義の追求（収益性だけでなく、公共施設として社会的メリットも発信）</li><li>● 社会貢献活動の一環として寄付を募集（多様な申込方法を検討）</li></ul>

## テーマ②：支出精査方法の検討

項目	委員からのご意見等
精査の方向性	<ul style="list-style-type: none"><li>● 実績データに基づく光熱水費や委託費の検証</li><li>● 人員配置の見直しによる人件費の精査</li></ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"><li>● 各施設の事業規模に見合った精査の実施 （目先の経費削減で事業の縮小を招かないように注意）</li><li>● 効率的な運営や戦略的な事業展開のための将来的な検討 （複数施設の一体管理、現行5年を原則としている指定管理期間の長期化）</li></ul>